

2022(令和 4)年度

学校関係者評価報告書

学校法人 大阪明星学園
明星高等学校 ・ 中学校

【学校教育自己診断の結果と分析・学校関係者評価委員会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析	学校関係者評価委員会からの意見																																										
<p>本校では教職員自己アンケート・保護者アンケート・生徒評価アンケートの3種類を実施し、教職員と保護者にはWEB回答を実施しました。その中でも特徴的な項目について以下にまとめます。なお各学年および全体の回収率は</p> <table border="1" data-bbox="127 358 1021 638"> <tr> <td>中学1年生</td> <td>生徒</td> <td>87.4%</td> <td>保護者</td> <td>98.2%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>中学2年生</td> <td>生徒</td> <td>88.9%</td> <td>保護者</td> <td>94.7%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>中学3年生</td> <td>生徒</td> <td>88.7%</td> <td>保護者</td> <td>92.4%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>高校1年生</td> <td>生徒</td> <td>90.0%</td> <td>保護者</td> <td>94.8%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>高校2年生</td> <td>生徒</td> <td>93.8%</td> <td>保護者</td> <td>86.6%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>高校3年生</td> <td>生徒</td> <td>76.0%</td> <td>保護者</td> <td>86.5%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>全体</td> <td>生徒</td> <td>87.1%</td> <td>保護者</td> <td>91.7%</td> <td>教職員 98.5%</td> </tr> </table> <p>でした。</p> <p>(1)教育理念について (設問1)の「建学の精神の浸透」(設問2)の「学園生活の中で神の愛、命の大切さに向き合う機会を提供しているか」という問いについては、保護者・生徒ともに概ね高い評価を得ました。昨年に比べ保護者の評価は上がりましたが、生徒の評価は少し下がりました。保護者の評価の上昇は、対面での保護者会が実施でき、学校の考えを直接伝える場が増えたことが要因として考えられます。生徒の評価の減少はコロナ禍で学校行事の縮小化の影響が多少あるかもしれませんが、「建学の精神」や「宗教教育」という理念的なものはなかなか浸透しづらいものかもしれませんが、これからも生徒には宗教の時間やホームルームを通して、保護者には保護者会や Classi を通して粘り強く伝え続けて行きたいと思えます。</p> <p>(2)学習指導について (設問4)の「授業時間数の確保」については、保護者の評価は少し減少し、生徒の評価は少し上昇しましたが、保護者、生徒とも高い評価を得ています。生徒より保護者の評価が高く出ています。 (設問5)の「知的好奇心への刺激」は全体の中でも低い評価でした。例年この傾向があります。教員の評価は、保護者・生徒の評価よりも高いことから、教員は「知的好奇心への刺激」を意識して授業をしているものと思われそうですが、それが生徒・保護者には上手く伝わっていない状況であると考えられます。この意識の開きを埋めることが課題となっています。今後もタブレット、パソコン、プロジェクターやICT教室・多目的ホール・図書館のラーニングコモンズ等を活用し、各教員が個々の授業において一層の工夫をしながら、授業・教科・学年・学校の枠に囚われず様々な課題の発見や解決に取り組むような活動を促すことにより生徒の知的好奇心を刺激し、評価が改善されるよう取り組みたいと思えます。 (設問8)の「公正評価」は、概ね高い評価を得ました。高校の新指導要領の実施に伴い、高1の評価方法が観点別評価となり大きく変わりました。今まで以上に評価の観点や方法を生徒および保護者に明確に伝えるようにしました。教員の評価が一番高かったことからわかるように、評価の公平性を意識した教員が多かったと思えます。 (設問15)の「進路指導」は保護者・生徒ともに評価が少し下がりました。卒業生の合格座談会や生徒・保護者対象の大学進学ガイダンスや大学説明会など感染対策を工夫し、できるだけコロナ前と同じように指導ができるよう取り組みましたが、大学の合格実績が評価の対象として一番影響があるように思われます。 (設問16)の「大学受験対応(高校)・進路希望対応(中学)」は、保護者・生徒の評価が3年連続上昇しました。コロナ禍の中、大学受験や進路決定に必要な情報提供が対面でできたことが評価に繋がっているものと思われます。</p> <p>(3)生活指導について (設問11)の結果から、本校の生活指導の方針に8割弱の保護者が肯定的評価していますが、2割弱は否定的評価をしています。一方生徒は、肯定的評価が5割弱、否定的評価が4割となってい</p>	中学1年生	生徒	87.4%	保護者	98.2%		中学2年生	生徒	88.9%	保護者	94.7%		中学3年生	生徒	88.7%	保護者	92.4%		高校1年生	生徒	90.0%	保護者	94.8%		高校2年生	生徒	93.8%	保護者	86.6%		高校3年生	生徒	76.0%	保護者	86.5%		全体	生徒	87.1%	保護者	91.7%	教職員 98.5%	<p>(学校関係者評価委員会) 令和5年9月16日(土) 本校法人会議室にて委員5名 本校教職員5名にて開催</p> <p>(1)教育理念について ・「建学の精神の浸透」は3者の評価も高く、また乖離も少ない状況で、過去と比して改善されている。 ・戦争等もある混沌とした社会情勢の中で宗教教育はあらゆる面で必要であり、マリア会の理念を更に徹底してもらいたい。 ・カトリックの伝統校らしい理念が素晴らしいと思う。 ・中2の長崎研修旅行でのミサは非常によい経験、学校外でのこの機会を大切にしてもらいたい。</p> <p>(2)学習指導について ・時間数の確保は評価出来るが、教員の「働き方改革」もありトレードオフの関係にあることから改題があることも否めない。 ・他校とは異なる学習指導があり、進学実績も良いが、更に上を目指して欲しい。 ・クラスによって興味を引くような独自の取組みは大変評価出来るが、知的好奇心の刺激が低い。社会の変化、多種多様なニーズに先生単独での対応は限界的で困難な現実もあり、外部の活用も含めて企画していくことが大切。 ・生徒に対して学習能力向上を意識した取組、課題を与えて欲しい。 ・古典的ではあるが、図書の利用が減ってきている。スマホの影響だと思うが、図書室の企画を保護者に知ってもらうよう外部発信が必要。 ・進学実績は保護者の一番の関心事なので立て直してもらいたい。</p> <p>(3)生活指導について ・保護者観点からはよく指導されていると感じる。例えば、生徒の元気よい挨拶から、</p>
中学1年生	生徒	87.4%	保護者	98.2%																																							
中学2年生	生徒	88.9%	保護者	94.7%																																							
中学3年生	生徒	88.7%	保護者	92.4%																																							
高校1年生	生徒	90.0%	保護者	94.8%																																							
高校2年生	生徒	93.8%	保護者	86.6%																																							
高校3年生	生徒	76.0%	保護者	86.5%																																							
全体	生徒	87.1%	保護者	91.7%	教職員 98.5%																																						

ます。実際に学校生活を送っている生徒には保護者のような高い評価は得られないのが例年の様子です。しかし、例年同様、(設問 12)の「規範意識指導」(設問 13)の「生活リズム指導」では、生徒の7割前後が肯定的評価をし、否定的評価は、2割前後でした。社会規範を身に付けることや規則正しい生活を送ることの大切さは理解しているが、本校の生活指導の方針について理解・納得ができない生徒がいるのも現実です。生活指導について学校の考え方を一方的に押しつけるのではなく生徒会とも協力しながら生活指導の方針について生徒がしっかり理解できるよう粘り強く取り組むことが大切であると考えます。

(4)施設設備関係

昨年同様、(設問 25)の「清掃・清潔」、(設問 26)の「施設面の充実」について、8割から9割の保護者は満足し、約7割の生徒が満足しています。明星では、トイレ・廊下等共有部分の清掃は、業者に委託していますので、委託業者のおかげで高評価となっています。生徒には、自分達が生活する環境を清潔に保ってもらっていることに感謝し、できるだけ汚さない・ゴミを出さないように一層指導したいと考えます。

(5)学校行事・クラブ関係・保護者会など

(設問 19)の「クラブ活動」(設問 20)の「学校行事の充実」は保護者・生徒・教員の評価はともに上がりました。コロナ禍の中工夫をしながらできるだけ行事を行い、ある程度満足したように思えます。保護者も参加できる行事が増えたのでこのような結果になったと思われる。

(設問 24)の「保護者会」は、講演会や生徒のプレゼンテーションなど一同に集まるような事は行えませんでした。一部学年が集まることができ、他学年は各教室で全体の放送を聞き、担任・副担任からのクラス会を行うという形式で実施できました。昨年より保護者の評価は上がりましたが、コロナ禍が終息し、日常生活が以前のように戻った後も、より保護者の求めている情報を発信できるようにしていきたいと思えます。

(6)連絡体制・ホームページ

(設問 22)の「家庭伝達」は出来るだけ紙媒体の伝達方法は少なくし、classiの連絡機能やアンケート機能を学年主任や組担任が積極的に使用して、保護者へ情報を発信しており、コロナ禍でclassiが昨年同様にかなり役立っており、高い評価となっていると思えます。(設問 28)の「緊急情報体制」は全体的には高い評価を得ていますが、昨年と比べて緊急の連絡も少なくなり評価の指数は少し下がっています。(設問 23)の「ホームページ」は昨年と比べると保護者・生徒・教員ともに少し評価が下がっています。ホームページは、入試広報でもたいへん重要なツールですので、情報運営委員会を中心に創意工夫し充実したものになるようにしていきたいと考えています。

(7)保護者・生徒・教員3者間の比較

保護者・生徒と教員の評価の差が大きかったのは(設問 18)生徒会活動と(設問 26)施設設備でした。生徒会活動は以前と比べ、生徒の自主性を重んじて活動させていますので、保護者・生徒からは一定の評価はありますが、教員からはもっと生徒にさせるべきだという考えもあり、低い評価となっています。この生徒会活動は「わからない」と答えた保護者が38.9%いましたので、保護者に対して生徒会の取り組みを発信することも今後必要であると考えています。設備施設は保護者・生徒からは設備が整っている、綺麗であると評価されていますが、とくに長年いる教員からは設備の老朽化が気になり低い評価になっているものと思えます。

(8)その他

(設問 10)の「支援体制」で、「わからない」と回答した保護者は昨年の約35%と同じ値でした。「カウンセリングだより」を出したり生徒・保護者への周知を行ったりしていますが、なかなか認知がしてもらえないようです。継続して保護者会での広報活動やclassiなどを用いた情報の伝達に努めていきたいと思えます。また、満足度ポイントの平均は、保護者・生徒において少し減少しました。コロナ禍の中、学校に来て様々な行事も体験できるようになり、問題を抱える生徒も増えたと思えます。支援教育に対する期待もその分高まっているものと思えます。教員の回答の中で「わからない」が最も高かったのは、(設問 24)の「保護者会で得た情報は役に立っている」で、24.1%でした。一方、同じ項目で保護者は89.3%が役に立って

素晴らしい指導が垣間みられる。

・人間形成が良く出来ている。アンケートでは保護者、生徒からの厳しい評価はあると思うが、もっと厳しく指導して欲しいとも思う。

・厳しくするには、社会に出た時の必要不可欠な要素として浸透させることが肝要である。

(4)施設設備関係

・男子校でありながら校内が綺麗と評判。
・清掃が行き届いており、いつ行っても気持ちが良い。

・校内案内標示があるとよいと思う。

・現場と保護者の評価が乖離、外部から見取れないところがあるのでないか。

(5)学校行事・クラブ関係・保護者会など

・文武両道の部分は評価出来るが、スポーツをもう少し強くして欲しい。

・野外活動については、人災・天災事故への配慮も忘れないようにしてもらいたい。

・体育大会のアーチ廃止は寂しい。(今年度は大型フラッグを準備)

・クラブは熱心だと思うが、もっと盛んにしてもいいのでないか。熱心な指導者を要請して活性化すれば、知名度向上、生徒確保に繋がる。この夏の慶応の甲子園優勝は参考にすべきである。

(6)連絡体制・ホームページ

・HPは受動的なツールであるので、SNSとの連携で学校の発信力が高まるのでなかろうか。

・HPは入学希望者向けとしてアピールが必要、ユニークな掲載ページも欲しい。

(7)保護者・生徒・教員3者間の比較

・3者間比較では同様の評価なので、今後は評価点の底上げをすべく、明星の強みである宗教教育の浸透が大事である。

・OBの教員方の同窓会活動への参加を期待する。

(8)その他

・高校無償化の流れにおいても、明星らしさを失うことなく、教育の質を維持してもらいたい

いと高い評価を得ています。教員としては作成している資料が保護者にどれくらい役に立っているかわからないものですが、保護者の評価を見ると役立っていることがわかります。この高い評価に満足せず、よりわかりやすく役に立つ資料になるように心掛けていきたいと思います。

学校関係者評価委員会名簿

学校法人 大阪明星学園

関係先	役職	氏名
大阪明星学園後援会	2023年度 会長	岸中 慎治
大阪明星学園後援会	2023年度 副会長	上岡 健治
大阪明星学園同窓会	常任理事	飯塚 修造
大阪明星学園同窓会	常任理事	灘 勝一
大阪明星学園後援会会長会	会長	高山 英幸
大阪明星学園後援会会長会	幹事	川村 芳範

【関係先情報】

大阪明星学園後援会	明星中学・高等学校の保護者組織(PTAに相当) 組織の代表者と副代表に委嘱
大阪明星学園同窓会	明星高校卒業生組織 幹事組織より選出し委嘱
大阪明星学園後援会会長会	大阪明星学園後援会組織(前述)の歴代代表者で組織 組織の代表者と幹事に委嘱